

- 有限会社鈴木養鶏場は、低水分で良質な鶏ふん堆肥を生産し、飼料用米生産農家との耕畜連携を進めるとともに肥料メーカー等に販売。農家のニーズに応じ鶏ふんペレットも製造販売し、堆肥散布も支援。

■ 国内資源の種類 ■ 肥料の種類・肥料名称

鶏ふん

- ・ 種類：特殊肥料（たい肥）
- ・ 肥料名：けいふん堆肥
ペレット鶏糞

■ 作物

飼料用米
野菜
果樹
花き
その他作物全般

■ 主成分の含有量（％）、特徴等

	N	P	K	CN比
けいふん堆肥(粉)	2.3	3.6	2.4	13.2
ペレット鶏糞	2.0	3.9	2.5	14.9

- ・ 発酵・完熟の期間は約8か月（乾物あたり）
- ・ 発酵温度は約80℃、雑草種子は死滅

■ 取組の経緯・内容・成果（見込み）

【取組の経緯】

- ・ 輸入飼料に依存しない国産飼料用米利用と、鶏ふん堆肥の供給を組み合わせた耕畜連携の取組を平成19年に開始。
- ・ 堆肥使用農家の「機械散布の際に舞ってしまいピンポイントに散布しづらい」という声を受け、平成29年にペレットマシンを導入し、ペレット化を開始。
- ・ 同様に「人手がなくて堆肥散布が大変」という声を受け、3トンダンプカーを改造した堆肥散布車を令和3年に導入し、散布支援を開始。

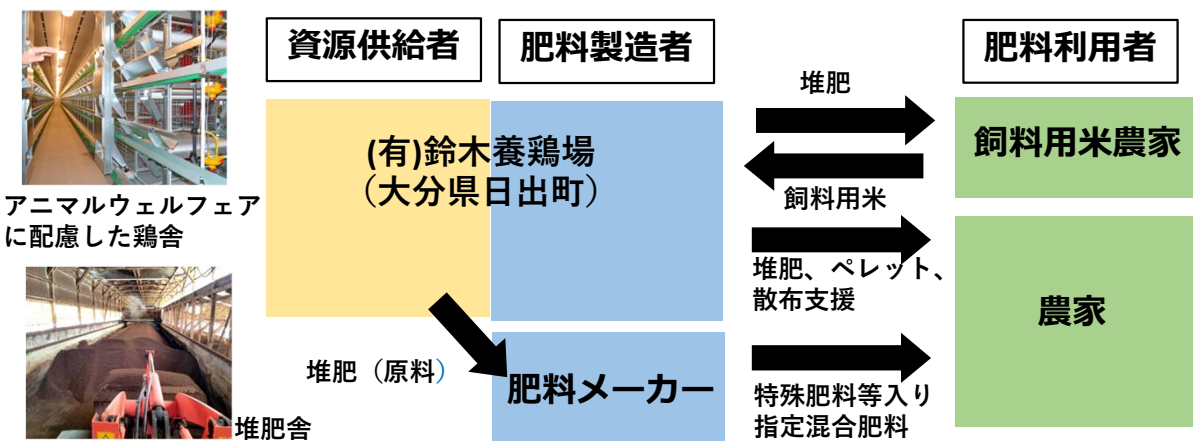
【取組の内容】

- ・ 60戸以上の飼料用米生産農家と契約。年間2,000トン以上の飼料用米を利用。
- ・ 年間約1,500トンの堆肥を飼料用米生産農家に供給。
- ・ ニーズに応じ、鶏ふんペレットの製造販売、堆肥の販売・配達に併せた散布支援。
- ・ 肥料メーカーに、特殊肥料等入り指定混合肥料の原料として堆肥を販売。

【成果】

- ・ 飼料に米を20～30%配合することによる、マイルドな食感の卵が好評。
- ・ 農家から、牛ふん堆肥を使用していた頃は匂いや雑草に悩まされたが、この鶏ふん堆肥に代えたことで課題が解決したとの声あり。
- ・ 農家への鶏ふんペレット供給や散布支援による散布労力軽減、肥料メーカーが求める良質堆肥供給による特殊肥料等入り指定混合肥料の安定生産。

■ 主たる取組主体と肥料利用までの流れ



■ 今後の課題・取組

- ・ 飼料用米の安定的確保。
- ・ 堆肥散布車により効果的な活用。特に中山間地では圃場の取付道路が狭く散布車が進入できないケースあり。



堆肥散布車



ペレットマシン



鶏ふんペレット